

鶴舞う形の群馬県（上毛かるた）より



# 鶴 風 群 馬

## 支部を支える支部役員

群馬県支部支部長 深澤 恵子（S56・化）

群馬県支部は、16の支部の中でも例年比較的早い時期に支部総会を開いています。今年度は一年近く前から総会の構想を練って準備を進め、また自然探索会についても具体的に話を進めていました。ところが突然沸き起こった（私にはそう思えるのですが）新型コロナウイルス感染症の蔓延により、日ごとにその状況が厳しくなり、すべてが中止やむなしという結論になってしまいました。そして今に至るまで役員会を開くことも難しく、役員間の連絡はメール・LINEが中心です。しかしそんな状況でも、なんとか議事の承認だけは受けられないかと、様々なアイデアを出していただきました。最終的に議事は次年度に持ち越しになりましたが、役員の方々が時間をかけて真摯に考えてくださり、これらを多くの会員にお知らせできないかと手を尽くしてくださったことをたいへんうれしく思います。そして役員一同来年度の開催に向けて努力していこうと決意しました。



支部を支える支部役員さん、他の支部ではどのように活動していらっしゃるのか。そんなお話も伺いたくて、昨年度は4つの支部総会懇親会に参加させていただきました。

医薬理三学部合同の開催となった神奈川県支部では、合同開催となった経緯や準備についてのお話しの他に、恒例となっている「鎌倉散歩」について一年以上前から候補地を選び、日にちを決めて準備を進めていることや、情報誌「鷗風」の編集・発行に関することなど伺いました。他県に転居しても神奈川県支部を応援したいと話す役員さんもいらっしゃいました。

新潟県支部では、支部間交流のためにかつて行われていた長岡花火大会見学で、近年は席を取るのが難しくなってしまったことや、酒造メーカーでの利き酒のお話を伺い、今度企画されたら是非参加したいと思いました。

台風で日程変更を余儀なくされた北陸支部では、富山市八尾町で「おわら風の盆」ス

テージ見学という企画にたいへん興味を持ち参加させていただきました。北陸三県役員会をするのも遠くて苦勞されるようでしたが、北陸の地を愛しここで生活しようと地元に戻った各県の方々のお話しが、風の盆のゆったりとした調べに重なります。ステージ見学の後、実際に踊りを教えていただき、女踊りを踊ってきました。

10周年を迎えた栃木県支部では、役員に同級生がいるとわかったことが大きな収穫でした。今回はお会いできませんでしたが、今後隣県として一緒にできることがあるでしょうと支部長さんとも話しました。

今年度はまた他の支部を訪ねてみたい。そう思っていた矢先のコロナ騒動で、しばらくそれもできなくなりました。みんなが苦渋の決断で中止を決めたのだと思います。来年は是非開催したい、一日も早くこの状況が改善できますようにとの願いはみな同じです。何人かの会員から「来年はきっと参加しますよ。」とありがたい連絡もいただきました。さらに今年度ご講演予定だった石田彰様、自然探索会でご案内いただく予定の鈴木明子様に寄稿していただくことができました。次年度実現できますように願いを込めてここに掲載させていただきます。皆様お元気で過ごしてください。そして来年度も群馬県支部の活動にご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

## 2019年度 理学部鶴風会群馬県支部活動報告

- 1) 2019年度第15回群馬県支部総会・研修会  
令和元年7月13日(土)

会場「高崎アーバンホテル」

- ① 平成30年度活動報告 決算報告・監査報告  
2019年度活動計画案 ・2019年度予算案  
報告の通り承認される。

- ② 講演会

- 「習志野キャンパスの今」

伊藤 展枝 常務理事

- 講演

演題「鳥獣害とその対策～中型獣を中心に～」

講師 鳥獣被害対策室支援センター

対策支援係長

山中 幹夫 先生(H4・生)

- 2) 支部役員会議

- 第1回役員会議 平成31年4月12日(土)

- ・第15回 支部総会開催について  
会場ホテル担当者との打ち合わせ報告
- ・自然探索会の方面・候補地検討

- 第2回役員会議 令和元年7月6日(土)

- ・開催要項・係分担の確認  
当日の流れ、議事内容等確認
- ・自然探索会について

- 第3回役員会議 令和元年8月24日(土)

- ・第15回支部総会・懇親会を振り返って。
- ・第16回支部総会 開催日時・場所について
- ・群馬自然探索会 日程・場所決定

- 2019年度群馬自然探索会

令和元年11月23日(土)

甘楽町こんにやくパークにて

「手作りこんにやくフルーツ体験」

飯野だるま工房にて

「だるまの絵付け体験」

- ・臨時役員会議(同日)

2020年度次回講演会講師をS35年卒 石田彰氏にお願いする。

2020年度自然探索会はS62年卒 鈴木明子氏ガイドによる谷川岳 ハイキング予定。

3) 他支部との交流

- 他支部総会参加（支部長 参加）
  - ・令和元年 9 月 7 日神奈川県支部
  - ・令和元年 10 月 5 日新潟県支部
  - ・令和元年 10 月 26 日北陸支部
  - ・令和元年 11 月 30 日栃木県支部

- 全国支部長会議 出席
  - 令和元年 11 月 9 日
  - 東邦大学習志野キャンパス

2019 年度（令和元年度）理学部鶴風会群馬県支部 会計報告

収入の部

日付	収入名目	予算	決算
平成 31 年 4 月 1 日	前年度繰越金	157,086	157,086
令和 1 年 7 月 13 日	支部総会・懇親会 会費	170,500	165,000
令和 1 年 7 月 13 日	鶴風会からの講演謝礼金	10,000	10,000
令和 1 年 7 月 13 日	県支部年会費	18,000	19,000
	合計	355,586	351,086

支出の部

日付	支出名目	予算	決算
令和 1 年 7 月 13 日	支部総会・懇親会 費用	170,500	164,500
令和 1 年 7 月 13 日	講演謝礼金	10,000	10,000
令和 1 年 11 月 23 日	群馬自然探索 補助	0	2,000
	役員会（準備・反省会）補助	8,000	3,918
	通信費	8,000	5,703
	交際費	2,000	6,000
	事務費	7,000	12,989
令和 2 年 3 月 31 日	次年度繰越金	150,086	145,976
	合計	355,586	351,086

2019 年度会計報告及び領収書及び付属証明書を監査した結果、相違ない事を証明いたします。

令和 2 年 3 月 31 日

東邦大学理学部鶴風会群馬県支部 会計監査

岩崎利一  
植原栄子

## プラスチックごみについて

石田 彰 (S35・化)

ピューと風が吹くと我が家の庭にプラスチック製の容器や包装が舞い降りる。海ではクジラの胃の中から 40 kg 分のポリ袋が見つかった等プラスチックごみが環境汚染の問題になっています。そこで、国内のプラスチックごみについて調べてみました。



プラスチックを進化させたのは第二次世界大戦です。鉄、銅、アルミ等の金属が不足し、それに代わる人工素材としてプラスチックが開発され、その技術は戦後、民用に転換され、1950 年代には石油産業が急速に発展、プラスチックは夢の素材としてもはやされるようになり、今ではプラスチックを使わない生活は考えられません。軽くて、丈夫で、加工し易く、価格も安い。特に、医療用プラスチックは人々の命を救い希望を与えています。プラスチックの最大の功績は医療分野での貢献であります。感染防止の為に使い捨てであり、低価格がそれを可能にしました。また、天然素材が引き起こすアレルギーや異物に触れると凝固する血液の性質も克服し、現在は抜糸の必要がない高分子生分解性プラスチックも開発され使われています。プラスチックの最大の問題点は生分解、つまり微生物によって分解されないことです。1970 年代からより環境への負荷が少ないバイオプラスチックの開発(例、トウモロコシを原料とするプラスチック等)はプラスチックごみ問題の解決策のひとつとして期待されていますが、開発途上です。

海に漂うプラスチックごみは紫外線や波の力によって小さくなり、分解されないでいつまでも残り続け、5 mm以下のものをマイクロプラスチック、特に、1 mm以下のものはマイクロビーズ(例、洗顔料、歯磨き粉等)と呼ばれています。マイクロプラスチックは動物プランクトンと同じ位の大きさで魚がプランクトンと間違えて食べ、それが食物連鎖により高次な生物ほど生物濃縮が起き、最終的には人間が摂取することも考えられます。実際、人間の便からも検出されています。人間が摂取しても微小なのでそのまま排出されるし、プラスチック自体毒性がないが、プラスチックに付着する有害化学物質(例、DDT,PCB等)の影響が問題です。まだ解明されていませんが心配です。

プラスチックごみを減らす具体的な対策を打たねば 2050 年の海はプラスチックごみの重量が魚の総重量を上回るという衝撃的な予測もあります。国連も「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げる中で、海洋汚染の防止や廃棄物の発生を 2030 年までに大幅削減することを加盟国に呼びかけています。プラスチックのリサイクルが始まったのは 1990 年以降です。2017 年国内で生産されたプラスチックは 1102 万 t、ごみとして 903 万 t が捨てられ、製品原料等に 251 万 t がリサイクルされました。約 3 割弱しかリサイクルされていません。生産量が多くなれば当然ごみの量も増えます。

プラスチックに限らず、ごみ問題の対策として、かつては「3R 運動」が進められていましたが、現在はこれに Refuse(断る。使わない。)を加えた「4R 運動」が世界的に推進されています。

プラスチック社会を急に変換することは至難の業ですが、「使い捨てない」、「レジ袋をもらわないようにする」等、身近なところから見直していくことが大切です。

### 参考文献

「14 歳からのプラスチックと環境問題」インフォビジュアル研究所著、太田出版

「環境科学入門」川合真一郎、張野宏也、山本義和著、化学同人

「どーする海洋プラスチック」西尾哲茂著、信山社

## 一ノ倉沢トレッキングへのお誘い

鈴木明子（S62・生）

新型コロナ感染拡大防止のため、生活圏外の外出自粛を余儀なくされている日々ですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年度の鶴風会群馬支部総会も中止となり、再会叶わず残念ですが、一日も早い終息を願い、今しばらくはステイホームで楽しみを見つけないかと思っています。

さて、私は5年前から谷川岳エコツアーリズム推進協議会インタープリターとして活動しています。主にエコツアーのガイドや一ノ倉沢電気バスのガイド、みなかみ町子ども達への環境学習、植生保護活動などを行っています。

（※今年度の各種活動の予定はコロナの状況によっては変更になる見込みです）

昨年度の群馬支部総会の懇親会でエコツアーのパンフレットをお配りさせていただいたところ、高柳満喜子神奈川県支部副支部長からご連絡をいただき、一ノ倉沢トレッキングをご案内することになりました。

2019年9月30日（月）、高柳副支部長とご友人3名、深井理事ご夫妻、天野紀子群馬支部副支部長にご参加いただきました。

一ノ倉沢は群馬県みなかみ町、谷川岳の山麓に位置し、ロッククライマーの聖地ともいわれる大岩壁です。新緑や紅葉の時期には、上毛新聞の一面に大きく写真が掲載されるので、ご存知の方も多いかと思います。



一ノ倉沢

トレッキングのスタート地点は谷川岳山岳資料館です。

（※5/5 現在、谷川岳山岳資料館や谷川岳ロープウェイおよび駐車場等の施設は当面の間休業となっています。皆さんがこれをお読みになっている頃には再開できるようになっていければいいのですが…）

ここから一ノ倉沢までは片道約3.3キロの道のりです。始めの300メートルはキツめの上り坂ですが、ここを過ぎればあとはほぼ平坦になります。舗装されている道なのでスニーカーでも大丈夫。自然を楽しみながら、のんびりと森林浴気分です。運が良ければ山の動物たちに出会えることも。お天気にも恵まれ、さあ出発です。谷川岳の自然の特徴や、道中見られる植物や動物、登山道などについての説明を聞いていただきながら歩いていきます。道半ば、マチガ沢で小休止。ここからは谷川岳の山頂「トマの耳」が望めま



マチガ沢から望む谷川岳



す。開放感を味わい、沢音と山風に癒された後、さらに進んでいきます。身体が爽やかな山の空気で満たされていくような感覚を覚えます。

出発から約1時間半、一ノ倉沢に到着です。実際に目で見る一ノ倉沢は、写真では分からない大迫力！多くのクライマーがその魅力にとりつかれ、挑戦し続けた気持ちが分かるような気がします。穂高岳、剣岳と並ぶ日本三大岩壁のひとつですが、こんなに気軽に行けるのは、谷川岳一ノ倉沢だけです。

(もちろんロッククライミングは気軽にはできませんよ～！念のため)  
絶景とおしゃべりを楽しみながら昼食をとりました。大自然の中で食べるゴハンは格別ですね。

観光でいらっしゃる方々の多くは一ノ倉沢に戻りますが、皆さんまだまだ体力に余裕がありそうなので、昼食後その先にある幽ノ沢まで行くことに。

一ノ倉沢から幽ノ沢までは1.1キロ、ここは舗装されていない山道となります。

歩いている人も少なくなり、関東の秘境“グンマー”の山奥感が深まってきます。

しかしながらこの道は、なんとこれでも国道なんです。もはや車は入れません。「幻の国道」と言われているもののひとつです。

谷川岳や一ノ倉沢の遭難史、道の歴史等々をお話ししながら歩むこと約30分、幽ノ沢に到着です。一ノ倉沢とはまた違った雰囲気のある岩壁です。幽ノ沢から30メートルほど先に「ブナのしずく」と名付けられた伏流水が出ています。この美味しい森の恵みを堪能して、帰路につきました。



幽ノ沢



ブナのしずく

上毛カルタには「みなかみ谷川スキーと登山」とありますが、スキーや登山はハードルが高いなあと感じる方でも、一ノ倉沢トレッキングはオススメです。

コロナ終息しましたら、ぜひお出掛けください。

## タイムカプセルの掘り起こし

原 秀介 (S40・生)

鶴風会群馬県支部長を深澤恵子支部長にバトンタッチし3年が経過しました。支部長を中心に支部活動を順調に実施されていることに感謝申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により東京オリンピック、パラリンピックをはじめ大きなイベントは感染拡大のために延期や中止となってしまいました。鶴風会群馬県支部の活動も同様に2020年度の活動方針、予算等を決定する支部総会は書面による承認になりました。総会時に行う講演会、懇親会も実施できず残念な気持ちでいっぱいです。新型コロナウイルスの治療薬、ワクチン等が早期開発され終息することを願うばかりです。

小生も昭和40年度に生物科を卒業し、東邦大学にて教員免許状を取得したことを感謝しつつ37年間群馬県公立学校（特別支援校、小、中学校）の教員として勤め、平成14年3月31日をもって定年退職いたしました。退職後20年目に入り男性平均年齢に近づきつつありますので時間を見つけ幼少時からの写真、学生時代、教職時に活用した書籍、応募した論文原稿等の処分整理を始めました。その中に小、中、高等学校、大学の卒業証書が整理されていました。私にとって特に小学校の卒業証書（高崎市立城南小学校）が懐かしく目に飛び込んできました。というのは私は昭和23年4月8日に高崎市立南小学校に入学しました。当時は終戦後まもなくということで児童数2158名、学級数37学級という現在の小中学生には想像できないことと思います。さらに昭和26年（1951年）には児童数2496人名、学級数48学級となり児童を収容することができなくなり授業開始時刻をずらす2部授業が開始されました。今現在はどうか、社会の変遷に伴い少子化が急速に進み学校統合や廃校により学校数が減少している現状です。そこで当時高崎市では南小学校から約2キロメートル離れた場所に南小学校分校を新設し4年生、5年生が移りました。当時4年生だった私は手に持てる学校備品を持って分校に移りました。その後、昭和27年に正式に高崎市立城南小学校となり通学区も変更され、昭和29年3月30日に高崎市立城南学校の2回生として卒業しました。入学した南小学校、卒業した城南小学校どちらも多くの思い出が頭をよぎります。

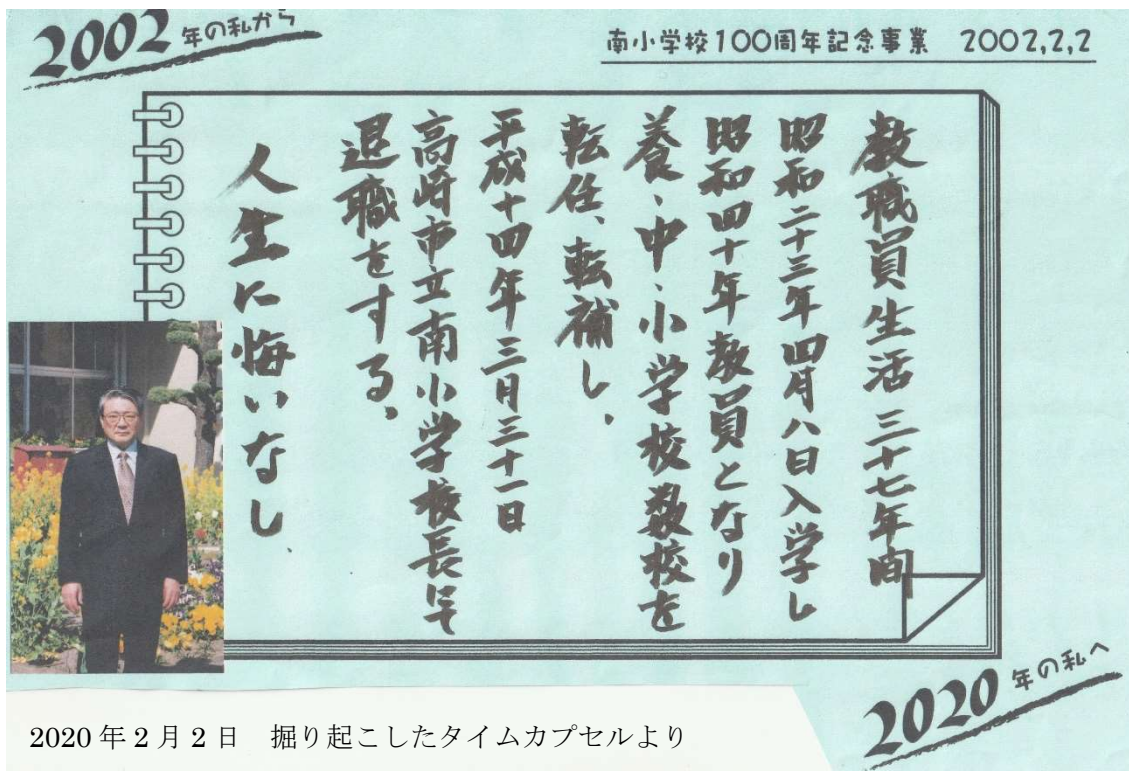
思い出はそれだけではありません。教員生活37年間の最後の2年間、私が昭和23年4月8日に入学した高崎市立南小学校の校長として勤務したことです。退職の年度は少子化の関係で全児童数120名、卒業生15名で58年前に私が南小学校に入学した年と比べ雲泥の差です。また、高崎市立南小学校設立100周年ということで多くの記念式典、記念行事が開催されました。その中にタイムカプセル埋設があり、退職時（平成13年度）**卒業証書（コピー）・我が人生悔いなし（2020年の私へ）**を埋設しました。18年後の2020年2月2日タイムカプセル掘り起こしが開催され、当時の児童、教職員、PTA役員、保護者、地域関係者の皆様にお会いでき思い出話に盛り上がりました。

私も無事に卒業証書の見本・我が人生悔いなし（2020年の私へ）を掘り起こすことができ昭和23年入学時のこと、昭和27年城南分校に引っ越したこと平成29年に城南小学校を卒業したこと懐かしく振り返ることができました。

さらに当時南小学校の児童としてお子様を通学させていた鶴風会群馬県支部役員としてお世話になっている岩崎利一会員、天野紀子会員さんにもお会いでき当時の思い出話をする  
ことができ嬉しく思いました。私にとって貴重なタイムカプセル掘り起こしの日になりました。

理学部鶴風会群馬県支部の役員の皆様には今後ともお世話になります。よろしくお願ひ  
します。

一日も早く新型コロナウイルス感染の終息を願ひつつ



2020年2月2日 掘り起こしたタイムカプセルより

発行人：東邦大学理学部鶴風会群馬県支部

支部長 深澤恵子

支部事務局：〒370-0071 群馬県高崎市小八木町 462-1